

活動が広がる宝物！

# 北海道といえばやっぱり『雪』だべさ

札幌市立緑丘小学校 東間 義孝

広い北海道の各地に共通していること。  
それは…『雪や寒さ』です。この学習材  
は、道内であればどの地域でも使えます。

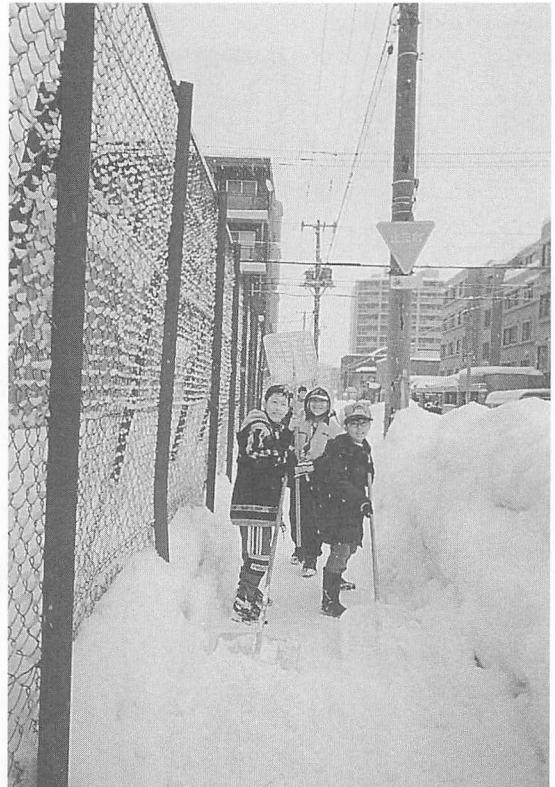
\*北国の冬を閉ざし、やっかいなものとして扱われ、人々を重い雰囲気なものにしていた「雪」。

しかし今は、どの市町村も多額の予算を計上し、大型機械を使って幹線道路や通学路を除排雪している。

子供たちが朝登校するときには、きれいに除雪された歩道を歩き、自分たちで雪をかきながら登校することなどほとんどない。また、マンションに住む子も増え、家庭用の雪かきすらしない家庭の子も少なくない。



雪かきを通して地域  
の人々と心を通わす



# こんな活動ができます

## 活動その1

### ◇まちにとび出そう！

豪雪の日でも、朝起きたら市街地の通学路は歩きやすく除雪してあります。しかし、一歩仲小路に入ってみましょう。よく見回すと、横断歩道の左右に雪が山積みにされていたり、消火栓が少ししか顔を見せていなかったり、バス停に段差ができるて滑って危ない様子等が、目に飛び込んでいます。



不便なのは自分たちだけ？」。

ここで「お年寄りや小さい子にとって暮らしやすい街なのか」というフィルターを通してみると活動が広がっていきます。

## 活動その2

### ◇自分たちからアプローチしよう

「自分たちができること」という意識をもった子供たちは、単に“除雪”するという活動だけにとどまらず、「○○さんのために除雪したい」という思いや願いに支えられた活動にふくらんでいきます。

## ～こんな活動に広がります～

お年寄りだけで 住まわれている お宅の前をきれ いにしたい	町内会 独居老人 調べ	歩道を きれいに 除雪	老人クラブ 施設前を 除雪	活動の 様子を 新聞で 紹介
--	-------------------	-------------------	---------------------	-------------------------

※地域のために汗をかく機会が少ない子供たち。地域の人々からの声に励まれ、活動意欲を増幅させていきます。